

SPECIAL
COUPON

今回「寄り道ふえにーちえ」にご登場いただいた
“鰻屋 黒船 堺御陵通店”さんより

読者のみなさまへ
ステキなプレゼント!



こちらの「フェニーチェ堺 Vol.27」を
鰻屋 黒船 堺御陵通店さんへご持参いただき、
店内で食事メニューをご注文のお客様に▶▶

「非売品のうなぎ焼きおにぎり」
1個サービスで提供いたします!

※クーポンのご利用は2024.10.31まで

サカ イ sacayメイト募集!

フェニーチェ堺や堺市文化振興財団で取り扱うチケットを
便利にご購入いただけるサービスです。



登録数
58,000人

登録無料

詳しくは sacayメイト 検索



©オカジマ サエ

「sacay
メイト」
4つの特典

特典01

先行予約
チケットがいち早く
予約できる
(一部公演を除く)

特典02

WEB
チケット購入
どこからでも
チケットが買える

特典03

メルマガ配信
最新の公演情報を
メールでいち早く
お届け

特典04

その他
お得な情報が
届くかも?

フェニーチェ堺・堺市文化振興財団への寄附のお願い

フェニーチェ堺をはじめ堺市文化振興財団は、ご支援いただく寄附金を募っております。
公益財団法人である当財団への寄附は税制上の優遇措置が受けられます。
詳しくはホームページ、又は堺市文化振興財団 総務課までお問い合わせください。

TEL.072-228-0114 (平日9:00~17:30) FAX.072-228-0115

情報誌設置場所(季刊)

堺市各区役所情報コーナー、
文化会館、図書館、その他堺市関係施設。
南海線、東北高速鉄道の主要駅。
その他、配布協力施設など。

19世紀末パリのポスター収集熱

集めて、愛でて、語り合う

今もお取集欲を掻き立てられる
19世紀末パリのポスター文化に浸れる展覧会。
当時の「アフィショマニ」（ポスターマニア）たちを
熱狂させたミュシャ・スタイルのポスターの魅力、
デザイナーとしてのミュシャの手腕も
存分にお楽しみいただけます。

企画展
アフィショマニ!
ミュシャマニ!

2024 8.3(日) 12.1(日)

堺 アルフォンス・ミュシャ館

【開催時間】9:30~17:15(入館は16:30まで)【休館日】月曜日、休日の翌日(9月17日、9月24日、10月15日、11月5日)※ただし8月13日は開館【観覧料】一般510円 / 高校・大学生310円 / 小・中学生100円
【主催】公益財団法人堺市文化振興財団 / 堺 アルフォンス・ミュシャ館【後援】在堺チェコ共和国名誉領事館【協力】三重県立美術館 / 京都工芸繊維大学美術工芸資料館 / シマノ自転車博物館 / OGATAコレクション / 鶴身印刷所 / いなだ石版印刷所 ※小学生未満、堺市内にお住まいの堺55歳以上の方、障がい者手帳をお持ちの方と一緒の方は無料。※20人以上の団体は割引料金適用となります。事前にお問い合わせください。※その他各種優待制度があります。
〒590-0014 大阪府堺市堺区田出井町1-2-200 ベルマージュ堺式番館 (JR堺市駅下車徒歩約3分) [TEL.] 072-222-5533 [FAX.] 072-222-6893 [HP] https://mucha.sakai-bunshin.com

ミュシャ館 HP

同時開催 ミュシャ Labo #5「特集!リトグラフ」も必見!リトグラフ印刷機の実演も開催予定。詳しくはHPで

F
E
N
I
C
E
S
A
C
A
Y

フェニーチェ堺 2024
Vol.27
まちと劇場

特集
「フィルハーモニー・オーボエ・カルテット」の魅力
佐渡 裕 スペシャルコメント
(Pick Up)
「100チェロ・コンサート チェロよ、歌え!」
●堺のまち・ひと「スピニング・ミル」
●寄り道ふえにーちえ「鰻屋 黒船 堺御陵通店」

©オカジマ サエ

FENICE SACAY CALENDAR

～2024.12.28
主な主催公演・イベント

10/20 日曜日 イベント パンフェスタ堺 2024 時間 10:00～15:00	10/24 木曜日 音楽 ワカテdeワカル フェニーチェ文楽 vol.5 火群—HOMURA 開演 ①11:00 ②15:00	11/2 土曜日～4月・休 演劇 フェニーチェ 演劇解体新書 vol.7～9 時間 各回 13:30～18:30	11/12 火曜日 落語 春風亭一之輔 独演会 開演 19:00
11/17 日曜日 歌舞伎 松竹大歌舞伎 開演 13:00	11/23 土曜日・祝 人形劇 ナイブ人形劇場(チェコ) 『こいぬと機関車 -Choo.Choo.Whistle.Woof!-』 開演 ①11:00 ②13:30	11/23 土曜日・祝 イベント ライトアップ イベント 時間未定	11/24 日曜日～12/26 木曜日 展示 飛び猫写真展 時間 10:00～18:00
12/8 日曜日 和太鼓 鼓童 十二月特別公演2024 『山踏み』 開演 15:00	12/10 火曜日 クラシック フィルハーモニー・オーボエ・カルテット with 佐渡裕(ナレーター) 開演 19:00	12/15 日曜日 ジャズ 渡辺貞夫 HOPE Sadao Watanabe with Strings 開演 16:00	12/28 土曜日 クラシック 川口成彦 フォルテピアノ リサイタルシリーズ2024 第1回 開演 15:00

◎文化庁シンボルマークの付いた公演は令和6年度の文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)| 独立行政法人日本芸術文化振興会の助成対象事業です。

チケット購入方法

WEB
電話
窓口

WEB購入 6:00～翌2:00

チケット購入ページ **sacayメイトへの登録が必要です**

sacayメイト チケット 検索

セブン-イレブンファミリーマート 配送、会館引取
(※配送と会館引取はクレジット支払いのみ)

電話予約 10:00～18:00

堺市文化振興財団チケットセンター
☎0570-08-0089 [チケット予約専用]

※一部携帯・CATV接続電話・IP電話からはご利用いただけません。

セブン-イレブンファミリーマート 配送
(引取)

窓口 直接購入 9:00～20:00

一般発売日の翌週より 残席がある場合のみ販売



フェニーチェ堺

大阪府堺市堺区鶴橋町2-1-1

南海高野線「堺東」駅 徒歩8分

中央環状線を堺区安井町交差点方面から一歩通り交差点方面へ進み、施設内へ左折

駐車場 [駐車料金] 30分/200円 (最大料金の適用はありません)
 [利用時間] 00:00～24:00

※障害のある方にご利用いただける専用駐車場(3台)がございます。満車のため敷地内の有料駐車場をご利用された場合は、総合受付にて駐車券と障害者手帳等(身体障害者手帳、療育手帳、精神福祉手帳、障害者手帳(アプリ他))をご提示いただきますと無料になります。※駐車台数は94台です。できるだけ公共交通機関をご利用下さい。

表紙について フィルハーモニー・オーボエ・カルテットは、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のメンバーを中心に結成されました。そのベルリン・フィルの本拠地ベルリナー・フィルハーモニーは1963年に完成。ステージを取り囲むように客席がぐるりと配置された斬新な設計は、五角形の特徴的な外観と共に、近代コンサートホールの白眉とされています。そこから東に3kmほど先、シュプレー川のほとりに建つベルリン大聖堂は114mの高さを誇る天蓋で知られ、その歴史は15世紀にまでさかのぼります。

◎公演情報で「主催」フェニーチェ堺と表記されているものは、フェニーチェ堺の指定管理者である公益財団法人堺市文化振興財団が開催する公演です。

フェニーチェ堺情報誌 Vol.27
 編集:フェニーチェ堺(公益財団法人堺市文化振興財団) クエストルーム株式会社
 デザイン:赤坂由有(goldfish projection)
 イラスト:オカジマ サエ
 発行人:公益財団法人堺市文化振興財団

劇場とわたし

02 著述家 プロデューサー **湯山玲子**



環境を巻き込むエンタメの可能性のある街

Daiwa House® PRESENTS
熊川哲也 K-BALLET TOKYO
Spring Tour 2024 『ラ・バヤデール』
 (2024年6月12日公演)

映画やアート、エンターテインメントには親しんでいるが、バレエは未経験という人々を、バレエの世界に引き込む、というミッションがあったとしたら、私は間違いなく、『ラ・バヤデール』の公演に彼女を連れて行くだろう。なぜならば、この演目、バレエというファンタジーの体現たるスペクタクル性が、まさに今ドキ。何せ、その舞台となっているのは、RPGやハリウッド系SF超大作を彷彿とさせる呪術的世界の畏敬を漂わせる荘厳な舞台美術を伴う古代インドの寺院で、もうもうエキゾチズムの極北。「ONE PIECE」の敵キャラに出てきてもおかしくない全身金箔塗りの肉体系美男性ダンサーなどが登場し、ワクワクさせてくれる。そして、各ソリストたちの踊りと言えば、コンクール演目として馴染みの、テクニカルにも表現力としても見応えがある場面が目押しした。そこに展開するのは、三角関係あり、毒殺ありの愛憎入り乱れた人間ドラマであり、その一方で、バレエという舞踊表現が通達した一つの境地である、バレエプラン(『ジゼル』などでお馴染みの白い衣裳を身にまとった女性ダンサーの群舞)による「あの世のあわいと幻想性」までが堪能できるという豊穣なバラエティー感を備えている。そう、エンタメのノウハウを詰め込んだ配信映像シリーズに慣れ親しんでいる大衆を振り向かせるには、これぐらいハイカロリーな作品でないと太刀打ちできない、というのが私の意見。さて、開館5周年のタイミングでこの大作が、フェニーチェ堺という特別なホールで行われるというので、大阪は堺に足を運んだ。しかも、主体はKバレエカンパニー。言わずと知れた、天才ダンサー熊川哲也が芸術監督を務め、現在、年間約50公演、毎年のべ10万人の動員をたたき出し、日本のバレエ界において確固たる地位を築いている実力集団である。主役のひとり、舞姫ニキヤを踊った若井優花がとても良かった。ファーストインプレッションは、恋愛のお花畑に遊ぶ夢見心地の、可憐な少女風。とはいえ、舞姫だけあって、男心を魅了するコケティッシュな部分もあり、その魔性が若井の可憐な雰囲気の中に時折顔を出す。

湯山玲子 (ゆやま れいこ)

著述家、プロデューサー。著作に『女ひとり寿司』(幻冬舎文庫)、『クラブカルチャー!』(毎日新聞出版局)、上野千鶴子との対談集『快樂上等!』(幻冬舎)等。クラシック音楽の新しい聴き方を提案するプロジェクト「爆クラ」主宰。DJジェフ・ミルズ×東京フィルハーモニー交響楽団の公演、「交響ラップ クラシックとラップが挑む未知の領域」等をプロデュース。テレビコメンテーター、ファッションブランドOJOUのデザイナーとしても活動中。日本大学芸術学部文芸学科、東京家政大学講師。



【劇場とわたし】は著名なアーティストや文化人がフェニーチェ堺に足を運び、実際に主催公演を鑑賞して書かれたものです。

しかし、その後、その可憐さは激情の夜叉に大変貌。恋人である戦士ソロールとの間を引き裂かれ、なおかつその恋敵に最愛の男がよろめくという最悪の事態に苦悩し、感情をむき出しにする。そして、毒蛇にかまれて死んでしまい、魂だけになったニキヤは、もはや人間の感情とは無縁な、超越したふわふわとした透明な存在となる。そう、『ラ・バヤデール』は、歌舞伎の『桜姫東文章』にも似た、女の魂の流転物語でもあるのだ。王の娘という特権を駆使して、戦士ソロールと結婚しようとするガムザッティ役には、成田紗弥。権力と美を兼ね備え、好きな男を振り向かせようとする堂々たる存在は、大きなバヤジャンプや回転などの高度なテクニックを余裕でこなし、キッとした視線などの存在感によく表れていた。戦士ソロールは、勇壮な戦士でありながら、三角関係の張本人として、優柔不断で卑怯さもある複雑な役柄だが、堀内将平は全体的に優雅でナイヴな雰囲気醸し出していて絶妙。こういう演技力は、演劇的な表現力に長けている英国・ロイヤルバレエ団での黄金のキャリアを経てきている。芸術監督、熊川哲也のセンスの継承を感じさせる。さて、今回、会場となったフェニーチェ堺にも驚かされた。新大阪駅から電車乗り継いで約40分。味わいのある昭和系な駅前の飲み屋街を横目に歩いて行くと、そこに突如としてホールが現れる。その雄大な劇場のモニュメント感は、ウィーンのフォルクスオーパーっばい。アフターとピフォアで、劇場の中で展開されるファンタジーと、俗世とのギャップを楽しんでもいいが、実のところそのふたつは根底では人間というものの本質に行き着く、という、環境を巻き込んだエンタメの可能性を感じた。ちなみに、このフェニーチェ堺というホールに驚かされたのは、海外のオペラハウスを感じさせる音響が立ち上がったことだ。先端音響ノウハウを駆使して、オーケストラの交響の響きを極限まで追求する昨今のコンサートホールの「良い音」とは違う、まさに「オペラ的」というべき独特の響き。その音響はあの縦に階層が連なる劇場空間と、オケピットが広く深い設計から生み出されるとなれば、日本ではまず不可能。しかし、フェニーチェ堺のオケピットの深さはもとより、客席が急勾配で高低差をつけている空間が醸し出す音は、まさにヨーロッパのオペラ劇場のそれを彷彿とされてくれた。バレエを中心に「劇場」を主要活動の場とするオーケストラとして熊川哲也が創立した、シアター オークストラ トウキョウが、ミンスク作曲のダイナミズムとロマンスの楽曲を熱演。総合芸術のバレエの魅力は、やはり生音のオーケストラがあって、初めて実感できるものなのだ。堺にはたくさんのバレエ教室があり、人々にとってバレエは子供を通して身近なものはず。この素晴らしいホールを中心に魅力的な市民バレエが生まれ、その常設演目のために全国から観客がやってくるようになったら、しめたもの。今、日本は一昔前だったら、空席が目立ったコンテンポラリーダンス公演がソールドアウトになるような空前のダンスブーム。夢ではあるまい。

Philharmonic Oboe Quartet

フィルハーモニー・オーボエ・カルテット

弦楽トリオとオーボエというユニークな組み合わせが特徴のフィルハーモニー・オーボエ・カルテット (PoQ) は、2016年にクリストフ・ハルトマン (オーボエ) とルイス・フィリペ・コエーリヨ (ヴァイオリン)、ワルター・ケスナー (ヴィオラ)、クレメンス・ヴァイゲル (チェロ) によって結成された。きっかけは2016年夏にドイツの「ランツベルグ音楽祭」にて18世紀にオーボエ奏者として活躍したフランツ・ヨーゼフ・ロシナック編曲によるモーツァルト作曲「魔笛」のオーボエ四重奏版を演奏したことである。それ以来、ドイツやイタリア、ブラジル、アメリカで数々のコンサートホールやフェスティバルで演奏を重ね、2019年秋には日本デビューを果たし、同時に初録音、モーツァルト作曲「魔笛」(ロシナック編) をリリースしている。

©Hermann Bredhorst

「フィルハーモニー・オーボエ・カルテット」の魅力

オーケストラのコンサートでは、コンサートマスターの指示でオーボエが基準音となるA(ラ)の音を吹き、それをきっかけに全ての楽器が順次、ピッチ(音の高さ)を合わせます。このチューニングと呼ばれる音合わせの儀式は、コンサートの始まりを告げ、聴衆の気持ちが一気に昂る瞬間です。以前、ベルリン・フィルのコンサートに行ったとき、首席奏者シレンベルガーの吹くA音が美しく過ぎて、チューニングの段階で周囲からため息が漏れていたほどで、私がオーケストラの魅力にハマるきっかけでした。オーボエが基準音を吹くのは、オーボエは管の長さを調整しないので、狂う心配がなく、音ははっきりと響きやすいという説と、楽器の構造上、途中でピッチを変えることが出来ないからという二つの説があります。いずれにせよ倍音が豊かで、オーケストラ内でも埋もれにくく、聴衆の耳にはっきりと飛び込んでくる音色を持つオーボエは、世界で一番難しい木管楽器とギネス認定されています。(ちなみに、世界で一番難しい金管楽器はホルンだそうです。)

オーケストラの人気の作品で、新世界交響曲と呼ばれるドヴォルザークの交響曲 第9番は、第2楽章に「家路」や「遠き山に日は落ちて」で知られるお馴染みの美しいメロディがありますが、それを吹いているのがコールアングレと言われる楽器。オーケストラではオーボエ奏者が持ち替えて吹く楽器ですが、オーボエよりも少しまったりと、独特のこもった音が抒情性を掻き立てます。第2楽章の終盤で、コールアングレから渡されたメロディを弦楽器が引き継ぎ、その後4小節だけコンサートマスターとヴィオラ、チェロの首席奏者2人による弦楽三重奏で演奏する瞬間があるのですが、それがこの世のものと思えぬほど美しく、ずっとこの音楽に浸っていたいと思うほど。「こんな音楽をもっと沢山聴けるなら…」 「聴けます!」というコンサートが、「フィルハーモニー・オーボエ・カルテット」のコンサートなのです。



©Hermann Bredhorst

ベルリン・フィルのオーボエ奏者クリストフ・ハルトマンと、世界屈指の実力を持つ弦楽器奏者3人によるオーボエ四重奏団が、モーツァルトの『オーボエ四重奏曲』とフランセの『コールアングレ四重奏曲』を演奏します。いかがですか? 名手ハルトマンによるオーボエとコールアングレの両方が聴ける、夢のようなコンサートは。そしてプログラムの後半では、モーツァルトの人気オペラ「魔笛」を、オーボエ四重奏のために「ハルモニウムジーク」という手法で書かれた作品が演奏されます。編曲は「ハルモニウムジーク」の第一人者 ロシナックによるもので、とても人気の作品なのですが、この楽器編成は珍しく、あまり演奏される機会はありません。「魔笛」はご存知のように名曲の宝庫。「おいらは鳥刺し」、「パ・パ・パ」や、夜の女王のアリア「地獄の復讐はわが心に燃え」といった名曲を、どのように形を変え、オーボエ四重

奏で聴かせてくれるのか、楽しみは尽きません。特にフェニーチェ堺では昨年、「子どものためのオペラ『まほうのふえ』〜パミーナ姫のたんじょうび〜」を上演したばかりで、その舞台をご覧になった皆さまには、またと無い贈り物だと思います。嬉しいのは、この作品のナレーターを指揮者の佐渡裕さんが務めること。このために多忙を極める佐渡さんが出演するのは、まさにオーボエのハルトマンとの友情の証なのでしょうね。「フィルハーモニー・オーボエ・カルテットwith佐渡裕(ナレーター)」のチケットは絶賛発売中。良いお席は、お急ぎください。

◎Text/磯島浩彰

Special Information

クリストフ・ハルトマンの演奏をYouTubeでご視聴できます▶



MEMBER PROFILE

クリストフ・ハルトマン [オーボエ]

1965年ランツベルク・アム・レヒ生まれ。アウクスブルクのレオポルド・モーツァルト音楽院にてゲオルク・フィッシャー氏、ミュンヘン音楽大学にてギュンター・バッシン氏に師事、オーボエと室内楽の修士号を取得。在学中よりシュトゥットガルト・フィルハーモニーで活躍した後、1992年ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。1999年ランツベルク夏の音楽祭を創設。それを機にアンサンブル・ベルリンを結成、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の室内楽グループである。オーボエ奏者としてEMIと契約、2008年アルバムをリリース。ベルリン・フィルハーモニー・アカデミーにて後進指導にもあたっている。



©Hermann Bredhorst

ルイス・フィリペ・コエーリヨ [ヴァイオリン]

ブラジル出身。4歳よりヴァイオリンを始め、16歳でヨーロッパに渡りハンズ・アイスラー音楽大学ベルリンなどにてウルフ・ヴァリンやザハール・ブロンに師事。2007~2008年ベルリン・フィルハーモニー・アカデミーにて研鑽を積み、2008年にはベルリン・フィル・アカデミーと録音したバッハの『2つのヴァイオリンのための協奏曲』でソリストを務めた。2012年ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団に正式に入団。ティボール・ヴァルガ国際コンクール3位の他、数々のコンクールで入賞。使用楽器はドイツ政府所有のクレモナのロレンツォ・ストリオニ1774年製。



©Hermann Bredhorst

ワルター・ケスナー [ヴィオラ]

ミュンスター生まれ。1987年バイエルン放送交響楽団に入団後、1989年ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。ヴィオラ奏者の傍らオーケストラのアーキビストも務め、弦楽八重奏団、四重奏団など室内楽アンサンブルにも積極的に参加。シフ・アンドラーシュ、レオニダス・カヴァコス、サラ・チャン等の室内楽パートナーでもある。ユルゲン・クスマウル、キム・カシュカシアン、マイケル・トゥリーらに師事。ハンズ・アイスラー音楽大学で客員教授として教鞭を執っている。上海音楽学院名誉教授。



©Hermann Bredhorst

クレメンス・ヴァイゲル [チェロ]

1968年生まれ。ヴェルツブルグ出身。6歳よりチェロを始め。ヤングスチューデントとしてトリンゲン音楽大学で研鑽を積み、ウィーン国立音楽大学にて学士、ミュンヘン音楽大学院にて修士取得。ゲラルト・ハマン、ワルター・ノータスらに師事。ゲルトナーブラウツ州立劇場に所属。ウォルフガング・バウアー・コンソート(パロックアンサンブル)、ロダン四重奏団、アンサンブル・ベルリン創設メンバーとして活躍。また、1999年よりミュンヘン音楽大学にて教鞭を執る。シュレスヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭のゲストコーチとしても活躍。日本でも兵庫芸術文化センター管弦楽団のゲスト・トップ・プレイヤーとして活躍している。



©Hermann Bredhorst

佐渡裕 [ナビゲーター]

京都市立芸術大学卒業。レナード・バーンスタイン、小澤征爾らに師事。1989年ブザンソン指揮者コンクール優勝。これまでハリ管弦楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団、ケルンWDR交響楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団等欧州の一流オーケストラに多数客演を重ねている。現在オーストリアのトーンキュンストラ管弦楽団音楽監督、兵庫県立芸術文化センター芸術監督、シエナ・ウインド・オーケストラの首席指揮者を務める。CDリリースは多数あり、最新盤はトーンキュンストラ管弦楽団を指揮した「マラー:交響曲第4番」を2024年1月にリリース。著書に「僕はいかにして指揮者になったのか」(新潮文庫)、「棒を振る人生~指揮者は時間を彫刻する~」(PHP文庫/新書)など。23年4月より新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督に就任。オフィシャルファンサイト:<http://yutaka-sado.meetsfan.jp>



©Peter Rigaud c/o Shotview Artists

Special Comment

今回『フィルハーモニー・オーボエ・カルテット』はたった4人でモーツァルトの有名なオペラ「魔笛」のハイライトを演奏します。この編成で壮大なオペラの世界に挑むのは、普通なかなか考えられないことですが、世界的名手達が小さなオーケストラとして、生き生きとしたオペラの舞台を体験させてくれます。私はナレーションとして友情出演し、ちょっとだけ演奏にも参加します!オペラや室内楽ファンの皆様だけでなく、演奏会が初めての方にも楽しんでいただける特別な企画。どうぞご期待ください!

12/10 火 開演19:00

大ホール

全席指定 SS¥6,500 S¥5,800 A¥4,800 B¥3,800

フィルハーモニー・オーボエ・カルテット with 佐渡裕(ナレーター)

ベルリン・フィルのメンバーを中心に構成されたカルテットによる、オーボエ&弦楽のための傑作選。後半は世界的指揮者・佐渡裕のナレーション付きでオペラの名作「魔笛」を演奏します。

●曲目/W.A.モーツァルト:オーボエ四重奏曲 へ長調 K.370、J.フランセ:コールアングレ四重奏曲、W.A.モーツァルト:オペラ「魔笛」よりK.620(ロシナック編曲)

※佐渡裕は指揮いたしません。

◎主催/フェニーチェ堺【チケット発売中】

本公演は文化庁の支援を受け、18歳以下の子供たちを無料でご招待いたします。
※詳細はホームページをご覧ください。



WEB 電話 窓口 チケットぴあ ローンチケット イープラス

Lコード52710 Pコード272-343 文化庁

チケット取扱い

WEB 「sacayメイト」WEB購入
電話 電話購入 窓口 窓口購入
※詳しい購入方法はP02をご参照ください



★未就学児入場不可



Pick UP

'25 3/30日

開演15:00

大ホール

全席指定 大人¥7,000 子ども¥3,500



100チェロ・コンサート チェロよ、歌え!

鬼才ジョヴァンニ・ソッリマと盟友エンリコ・メロツィを中心に、世代やキャリア、国籍を越えて100人を超えるチェリストが集結。リハーサルを含めた3日間を共にホールで過ごし、圧巻のオーケストラサウンドを創造する革新的なプロジェクトが、いよいよ始動します!

ソッリマとは、誰か

「世界最高峰」「鬼才」「天才」「チェロ・マスター」。様々な言葉でたたえられるジョヴァンニ・ソッリマは、1962年イタリア・シチリア州パレルモ出身。クラシック、古楽、バロック、オペラ、ジャズ、ロック、即興演奏まで、400年にわたる音楽の歴史をつづり、世界中の民族音楽までを飲み込んだ唯一無二の演奏スタイルと作風を持つ、今、ヨーロッパで最も注目されているチェロ演奏家兼作曲家です。代表作「チェロよ、歌え!」「ラメンタチオ」「アローン」は世界中の数多くのチェリストに影響を与え、演奏され続けています。これまでにリカルド・ムーティ(指揮者)、マルタ・アルゲリッチ(ピアニスト)、クラウディア・アバド(指揮者)、ティグラン・マンスリアン(作曲家)、ステファン・ボラーニ(ピアニスト)、アントニオ・パッパーノ(指揮者)、ペーター・シュタイン(オペラ・演劇監督)ら数多くの巨匠と共演し、絶賛を受けてきました。世界的チェリストのヨーロッパはソッリマとの共演のあと『彼の前では、僕はまるで子猫のようなもの。彼はチェロの超達人

で、怖いもの知らずだ」と語り、日本でもよく知られる2CELLOSは「ソッリマとAC/DCの曲を共演したんだ。僕らの夢が叶ったよ!」と喜びを爆発させるなど、名だたるチェリストからも尊敬のまなざしを向けられています。またチェロ弾き必読コミック「僕のジョバンニ」(穂積 作)の中で、主人公が憧れるチェリストのモデルとしても登場しています。

世界から、全国から 100人超えのチェリストが集結

6月から始まった「100チェロ・コンサート」の参加チェリスト募集は予想を大きく上回り、230名以上の応募がありました(ありがとうございました!)。舞台の広さには限界があるため、全員の参加は叶いませんが、圧倒的な表現力で広大なスケールの音楽を生み出すソッリマ、盟友メロツィ、そして100名を超えるチェリストたちが解き放つ爆発的なシンフォニーサウンドが聴衆の感性と呼吸して、フェニーチェ堺の大ホールを素晴らしい音楽空間に変貌させることでしょう。どうぞ、ご期待ください!



©2012 Almendra Music

[10/12(土)チケット発売] ◎主催/フェニーチェ堺 ◎招聘・制作協力/プランクton ◎後援/イタリア大使館・イタリア文化会館

ジョヴァンニ・ソッリマ
公式 YouTube より



Giovanni Sollima
& 100 Cellos,
"Hallelujah"
by Leonard Cohen



Giovanni Sollima,
"Daydream"
(Sogno ad occhi aperti)



Giovanni Sollima,
"Terra Aria" from
"J. Beuys Song"

Performance
Information

チケット
取扱
WEB 「sacayメイト」WEB購入
電話 電話購入 窓口 窓口購入
※詳しい購入方法はP02をご参照ください

チケット
ぴあ



ローソン
チケット



イーブラス



未就学児
入場不可

オペラ 9/28日・29日 開演 各14:00
大ホール

全席指定 SS¥15,000 S¥12,000 A¥10,000 B¥8,000 C¥5,000

堺シティオペラ第39回 定期公演 オペラ『フィガロの結婚』 全4幕 (原語上演・字幕付)



第38回定期公演「ウインザーの陽気な女房たち」より

ヨーロッパが未だ貴族社会だった時代——伯爵家に仕える召使いのフィガロと婚約者のスザンナが、幸せを得るためにあらゆる階層の人々を巻き込んで繰り広げる、狂おしき一日! モーツァルトの軽やかな音楽と共にオペラの醍醐味をお楽しみください。

●指揮/デリック・イノウエ ●演出/岩田達宗 ●合唱/堺シティオペラ記念合唱団
●管弦楽/大阪交響楽団 ●出演/木村善明、片桐直樹、並河寿美、西村圭市、
樹貴志、坂口裕子、浅田眞理子、松浦 優、井原秀人、水野智絵、溝越美詩、奥村 哲 ほか

◎主催/堺シティオペラ一般社団法人 ◎共催/フェニーチェ堺
[チケット発売中]

WEB 電話 窓口 ぴあ Pコード269-718
Lコード56677



文楽 10/24日 開演 ①11:00
②15:00 小ホール

全席指定 ¥3,000

ワカテ de ワカル フェニーチェ文楽vol.5 「火群-HOMURA」

昨年好評を博したTHE フェニーチェ文楽「火群-HOMURA」の再演に、次代を担う若手が挑戦! 迫力ある大道具や舞台演出の『実は…』などの工夫を解説して文楽の魅力を深掘りするミニコーナーと、文楽界のこれからや演目の見どころを芸芸員が語るトークもお楽しみに。



©渡邊 暁

●演目/『伊達娘恋緋鹿子』火の見櫓の段、『妹背山婦女庭訓』金殿の段
●出演/豊竹靖太夫、鶴澤寛太郎、吉田義紫郎 ほか
●発意・監修/桐竹勘十郎(人間国宝)

◎主催/フェニーチェ堺
◎制作協力/一般社団法人 日本の伝統芸能
◎協力/関西舞台株式会社

[チケット発売中]

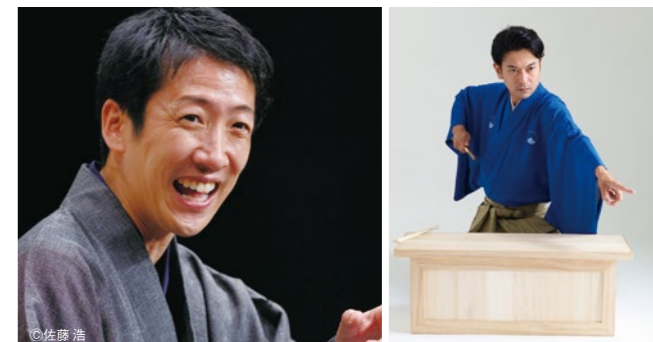
WEB 電話 窓口 ぴあ Pコード527-334
Lコード52324



落語 10/16日 開演13:00 大スタジオ

自由席 ¥1,500

まずはここから! ひるらくご 第3回「堺/南大阪が出てくるハナシ」



©佐藤 浩

落語のおもしろさがきっともつとわかるようになる、上方落語の入門編シリーズ。「目黒のさんま」「愛宕山」のように演目名に地名が入っているものは別として、どこが舞台なのかわからないことがあります。そこで第3回では堺や南大阪が出てくる作品を取り上げます。「へえ、あの辺りか」と想像しながら、落語と講談を1席ずつお楽しみください。トークコーナーにもご期待を。

●出演/桂福丸(落語)、旭堂南龍(講談)

◎主催/フェニーチェ堺
[チケット発売中]

WEB 電話 窓口



落語 11/12日 開演19:00 小ホール

全席指定 ¥4,000

鳳凰亭落語シリーズ 春風亭一之輔 独演会

東西の人気落語家が続々登場する、鳳凰亭落語シリーズ。今もつとチケットが取れない落語家こと春風亭一之輔が再び堺へ! 洒落さの中に漂う江戸の風情をご堪能ください。



©Kitchen Minoru

◎主催/フェニーチェ堺
[SOLD OUT]

WEB 電話 窓口 ぴあ



Pコード528-028
Lコード54817

人形劇 **11/23** 土・祝 開演 ①11:00 ②13:30 自由席 一般¥1,800 子ども(2~18歳まで)¥800 大スタジオ

ナイン人形劇場(チェコ) 『こいぬと機関車 -Choo,Choo,Whistle,Woof!-』

アンサンブルによる良質な作品を作り続けているナイン人形劇場。ユネスコ無形文化遺産に登録されているチェコの人形劇の中でも、長年人々に親しまれている劇場のひとつです。今回は、小さいお子さまと親子で楽しめる、セリフのない人形劇を上演します。はぐれてしまった友だちを探すために、機関車に乗って旅に出た一匹の子犬。見知らぬ場所でのいんな犬たちと出会う冒険物語をお楽しみください。

◆対象/2歳以上
◎主催/フェニーチェ堺
【8/24(土)チケット発売】

WEB 電話 窓口 ロソ 未就学児 入場不可



関連企画 チェコのロマン～アルフォンス・ミュシャと堺展 11/6(水)～19(火)

【会場】交流・創作ガレリア 【料金】入場無料 【時間】10:00～20:00(最終入場時間19:30) ※11/18(月)は休館
「ナイン人形劇場」の来日を記念して、チェコ出身の画家アルフォンス・ミュシャの作品(レプリカ、堺 アルフォンス・ミュシャ館所蔵)を展示します。また、ミュシャの作品を意匠化した堺市オリジナルの「デザインマンホール」の実物1点も展示。多くのミュシャ作品が堺市に寄贈されたことに始まる、芸術が結ぶチェコと堺のきずなを体感してください。

【無料配布】堺銀座商店街のデザインマンホールMAP(ミュシャ12種類、堺のまちの屏風絵9種類)

◎主催/フェニーチェ堺 ◎協力/堺 アルフォンス・ミュシャ館、堺市上下水道局

歌舞伎 **11/17** 日 開演13:00 大ホール

全席指定 SS¥8,000 S¥7,000 A¥5,500 B¥4,500

松竹大歌舞伎



写真提供:松竹

「松竹大歌舞伎」フェニーチェ堺で初公演決定!
萬屋親子二代が堺に歌舞伎の世界を届けます。
中村隼人のご挨拶を皮切りに、情緒あふれる義太夫狂言の名作「引窓」、ユーモアあふれる狂言舞踊「身替座禪」でお楽しみください。

●出演/中村錦之助、中村隼人、上村吉弥、市川笑三郎、市川青虎 ほか
●演目/ご挨拶、双蝶々曲輪日記 引窓、身替座禪

◎主催/フェニーチェ堺 ◎製作/松竹株式会社
◎企画/全国公立文化施設協会

【チケット発売中】

WEB 電話 窓口 ぴあ ロソ 未就学児 入場不可

和太鼓 **12/8** 日 開演15:00 大ホール

全席指定 S¥6,000 A¥5,000 B¥4,000

鼓童 十二月特別公演 2024 「山踏み」



©Takashi Okamoto

2024年冬にお届けする鼓童の最新作は、韓国太鼓(チャンゴ)演奏家のチェ・ジェ Chol(崔在哲)氏をゲストに迎えた特別共演作品。「身体性、音楽性、精神性」この三本の柱を足元から見つめ、新しくも奥深い、そして鼓童らしさを兼ね備えた舞台をお楽しみください。

◎主催/フェニーチェ堺
◎企画・製作/北前船

【チケット発売中】

WEB 電話 窓口 ぴあ ロソ 未就学児 入場不可

ジャズ **12/15** 日 開演16:00 大ホール

全席指定 S¥6,500 A¥5,500 B¥4,500

HOPE Sadao Watanabe with Strings

2023年の初登場では満席の大ホールに歓喜のため息をつかせた日本ジャズ界のレジェンド渡辺貞夫が、早くもフェニーチェ堺に凱旋。ますます円熟味を増すサクソと、気心の知れたピアノ・ベース・ドラムスの編成にストリングスが参加し、再び極上の音色を響かせます。

●出演/渡辺貞夫(as)、ラッセル・フェランテ(p)、ベン・ウィリアムス(b)、竹村一哲(ds)、押鐘貴之ストリングス



◎主催/フェニーチェ堺

【8/31(土)チケット発売】

WEB 電話 窓口 ぴあ ロソ 未就学児 入場不可



オペラ '25 **1/5** 日 開演14:00 大ホール

全席指定 SS¥8,000 S¥5,000 A¥3,000

Teatro Trinitario 2025 新春を寿ぐ “メリー・ウィドウの世界で巻き起こるオペラ・ガラコンサート”



●指揮/山下一史(大阪交響楽団 常任指揮者) ●出演/並河寿美(ハンナ)、山田大智(ツェータ男爵)、榎貴志(ダニコ)、西影星二(カミーユ)、村岡謙(バラシエンヌ) ●ゲスト/晴雅彦、石橋栄実 ほか ●管弦楽/大阪交響楽団 ●合唱/大阪響コーラス・堺シティオペラ記念合唱団 ●企画・演出・ナレーション/Taro Morikawa ●曲目/レハール 喜歌劇「メリー・ウィドウ」より

◎主催/堺シティオペラ 一般社団法人、公益社団法人 大阪交響楽団、フェニーチェ堺
◎特別協賛/大和ハウス工業 株式会社

【9/14(土)チケット発売】

WEB 電話 窓口 ぴあ ロソ 未就学児 入場不可

クラシック 第1回 **12/28** 土 開演15:00 第2回 '25 **1/25** 土 開演15:00 小ホール

全席指定 ¥4,000

川口成彦フォルテピアノリサイタルシリーズ2024 —女性作曲家への憧れ—

クラシック音楽の歴史に彩りある美しい時間を刻んできた女性作曲家たち。彼女たちが紡いだ音楽の時代を、川口成彦が奏でるフォルテピアノの音色で巡ります。

●出演/川口成彦

◎第1回「古典派からロマン派へ」

●曲目/バークピアノソナタ ヘ長調 op.4-1
シマノフスカ:ポロネーズ ヘ短調 ほか

●使用楽器/ヨハン・クレマー 1825年ウィーン製
(タカギクラヴィア所有)

◎第2回「ロマン派から近代へ」

●曲目/バックロ=グロダール:セレナーデ op.15-1
C.シューマン:スケルツォ 第2番 op.14 ほか

●使用楽器/エラール 1852年製
(ヤマモトコレクション所有)

※やむを得ない事情により曲目・公演内容が変更となる場合があります

◎主催/フェニーチェ堺

◎協力/タカギクラヴィア、フォルテピアノ ヤマモトコレクション

【9/14(土)チケット発売】

WEB 電話 窓口 ぴあ ロソ 未就学児 入場不可



©Taira Tairadate

関連企画 堺の詩人 河井醉茗と「女性時代」展 12/28(土) '25 1/4(土)～10(金) '25 1/15(水)～25(土)

【会場】交流・創作ガレリア 【料金】入場無料 【時間】10:00～20:00(最終入場時間19:30) ※12/28(土)のみ13:00～20:00 ※1/6(月)、20(月)は休館

子供たちよ。これはゆずり葉の木です。このゆずり葉は新しい葉が出来ると入れ代わってふるい葉が落ちてしまうのです。

という一節から始まる「ゆずり葉」を書いた詩人・河井醉茗は1874年(明治7年)5月7日に堺で生まれました。詩作のかたわら、記者/編集者として多くの文芸誌にかかわり、詩の発展に尽くしました。昭和5年には「女性時代」を刊行し、女性詩人の育成に務めています。このたび、堺市立中央図書館が所蔵する貴重な資料を展示します。普段は非公開の「女性時代」誌の一部や醉茗の詩集(初版)をご覧になりながら、女性の芸術表現に共鳴した堺の詩人に思いを馳せてください。

◎主催/フェニーチェ堺 ◎協力/堺市立中央図書館

落語 '25 1/18 土 開演15:00 小ホール

全席指定 ¥4,000

鳳凰亭落語シリーズ 桂南光 独演会

東西の人気落語家が続々登場する、鳳凰亭落語シリーズ。上方落語界を代表する人気噺家・桂南光が、フェニーチェ堺のオープニング以来、5年ぶりに登場します。円熟の落語をお楽しみください。



◎主催/フェニーチェ堺
◎制作協力/米朝事務所

[10/12(土)チケット発売]

WEB 電話 窓口 ぴあ ローソン e ★



クラシック '25 2/23 日 開演15:00 大ホール

全席指定 S¥4,000 A¥3,500

フェニーチェ堺 開館5周年記念事業 「第九」コンサート

開館5周年を迎えたフェニーチェ堺を舞台に市民と一緒に歌う喜びと、共に過ごす喜びを分かち合う「第九」コンサートを開催。真紅の大ホールが歓喜に包まれる瞬間を体験しませんか？



◎指揮/瀬山智博 ●出演/水野智絵(ソプラノ)、藤木大地(アルト)、加護翔大(テノール)、三原剛(バリトン) ●管弦楽/大阪交響楽団 ●合唱団/フェニーチェ堺 第九記念合唱団 ●曲目/ベートーヴェン:交響曲 第九番 ニ短調作品125「合唱付き」、花場富美子作曲「古えの堺へ」百舌鳥耳原に寄せる3つの墓碑銘

◎主催/フェニーチェ堺
◎協力/堺シティオペラ一般社団法人 公益社団法人 大阪交響楽団

[11/16(土)チケット発売]

WEB 電話 窓口 ぴあ ローソン e ★



演劇 11/2 土・3 日・祝・4 月・休 大スタジオ

[各講座] 一般¥2,500 U-25(25歳以下)¥1,500
[3講座セット券] 一般¥7,000 U-25(25歳以下)¥4,000※9/8(日)までの申込

フェニーチェ演劇解体新書



講師と参加者が一緒に考え、一緒に試しながら作っていく演劇ワークショップシリーズ。“少し学んで沢山考える”贅沢な時間です。※各回途中休憩あり

●講師/藤井颯太郎(俳優・作家・演出家)

Vol.7『楽しい嘘のつきかた講座』11月2日(土)13:30~18:30

“楽しく嘘をつく”をテーマに、一日のWSを通してウソの面白さ、ウソをつかないことの価値に向き合っていきます。

Vol.8『登場! 人物! 全員! ロマンチック! 講座』11月3日(日)13:30~18:30

あらゆる名作戯曲の中から愛の言葉だけを抜粋し、普段なら口にするのも恥づかしいセリフを「台本に書いてあるから!」と堂々と口にしてみましょう!

Vol.9『演劇をジャグリングする』11月4日(月・休)13:30~18:30

ジャグリングの技術を学び、お芝居の中でこっそり使ってみる“演劇のためのジャグリング教室”です!! ●ゲスト講師/染谷樹(ジャグラー)

◆対象/中学生以上(未経験者歓迎) ◎主催/フェニーチェ堺

[8/29(木)12:00~9/8(日)13:00申込受付]

※定員を超える申込があった場合は抽選
※定員まで余裕がある場合 9/21(土)10:00~追加申込

WEB



イベント 10/5 土 時間10:00~21:00 (1枠55分) 小ホール

¥3,500(1枠)

未来の音楽家応援企画「チャレドリ」 ~Challenging your dreams~



夢に向かって挑戦する未来の音楽家がコンクールに向けて本番に近い環境で練習をしたり、オーディションの審査用動画を撮影することを応援するために、小ホールを時間単位で貸し出します。

◆対象/コンクールやオーディションに出場する方

※目的外の利用はできません
※4歳~中学生は保護者の同伴が必要、3歳以下は入場不可

◎主催/フェニーチェ堺

[9/5(木)10:00受付開始]

[申込方法] ☎072-223-1000(電話のみ、先着順)

クラシック '25 3/22 土 開演時間未定 大ホール

全席指定 S¥14,000 A¥12,000 B¥10,000 C¥8,000

サー・アンドラーシュ・シフ指揮 カペラ・アンドレア・バルカ



現代最高峰のピアニストにしてバッハの体現者として名高い、サー・アンドラーシュ・シフ。ザルツブルクの音楽祭「モーツァルト週間」で1999年から2005年にかけて行われたモーツァルトのピアノ協奏曲全曲演奏会のために、彼が直々に出演を依頼した奏者たちで構成された室内楽オーケストラ「カペラ・アンドレア・バルカ」(CAB)と共に、珠玉のオール・バッハ・プログラムをお届けします。普段はソリストや室内楽奏者として世界的に活躍している音楽家たちと、シフの精妙なピアノと指揮とで織り成す夢のような演奏を、心ゆくまで堪能ください。

◎主催/フェニーチェ堺

[10/19(土)チケット発売]

WEB 電話 窓口 ぴあ ローソン e ★



コンサート 11/26 火 開演19:00 大ホール

全席指定 SS¥8,000 S¥7,500 A¥5,500 B¥3,500

英国国王陛下の近衛軍楽隊 コールドストリーム・ガーズ・バンド



2024年6月25日にバッキンガム宮殿で天皇后陛下をお迎えした、ヨーロッパ最高レベルの吹奏楽団「英国近衛軍楽隊コールドストリーム・ガーズ・バンド」が来日。スコットランドバグパイパーの演奏もお楽しみください。

●曲目/威風堂々、アメイジンググレイス、ボンド007 ほか

◎主催/ベルカントジャパン合同会社

◎共催/フェニーチェ堺

[8/31(土)チケット発売]

WEB 電話 窓口 ぴあ ローソン e ★ Pコード279-230 Lコード81910

ダンス 11/24 日 開演16:30 大ホール

自由席 無料(入場整理券あり)

Silent Echoes



堺市と関西大学との地域連携事業「みんなで踊ろう」に参加する堺市に住むシニアと関西大学の学生、フェニーチェ堺で実施した親子ワークショップの参加者たちが共創する公演です。

今年のテーマ、『Silent Echoes(サイレントエコーズ)』では、静かに、しかし熱く着実に響き合う、出演者一人ひとりの想いを表現します。

◎主催/関西大学人間健康学部、堺市

◎共催/フェニーチェ堺

[9月中旬申込]

※詳細は決まり次第ホームページにて発表

バレエ '25 1/18 土 開演①15:00 ②18:00 大スタジオ

自由席 ①小学生¥800 ペア(小学生と保護者)¥1,500 ②一般¥1,500

知る! 楽しい! もっと観たい! バレエの世界



①子どものためのバレエ「シンデレラ」へのトビラ
②大人のためのバレエ「シンデレラ」へのトビラ

バレエに興味はあるけど勇気がいる…。公演に足を運ぶのは敷居が高い…。そんな方におすすめのバレエ講座です。今回は童話でも有名な「シンデレラ」を取り上げ、実演をまじえながらその世界観を解説。参加者がバレエの動きを体験するコーナーもあります!

●解説/野間景(野間バレエ団副団長) ●出演/野間バレエ団

●ゲスト/マイヤー敬洋ハリー

◎主催/フェニーチェ堺 ◎協力/野間バレエ団

[9/28(土)チケット発売]

WEB 電話 窓口 ★



堺市文化振興財団 イベント情報

フェニーチェ堺と同じく、「公益財団法人堺市文化振興財団」が運営する、皆様の身近な施設で実施する催しを一部ご紹介します。

10/27日 [開演12:10]
堺市立東文化会館 フラットホール

第6回北野田エンタメフェスティバル 落語会

今年もやります！
エンタメ落語会！
演目は当日のお楽しみです。

第1部12:10～13:10
第2部13:30～14:30
第3部15:10～16:10
第4部16:30～17:30



笑福亭竹林

露の端

全席自由 前売¥2,500 当日¥2,800
幕見席¥1,000(各部20枚限定)

※ローションチケットの取扱いは通し券のみ

[チケット発売中]

◎お問合せ／堺市立東文化会館 ☎072-230-0134
[主催]堺市立東文化会館

WEB 電話 窓口 口 ★ Lコード52663



11/4月・祝 [開演14:00]
堺市立東文化会館 メインホール

Talistris Concert Tour 堺公演 Vol.Ⅳ ～ウィーンに集うロマンティストたちの夜～

堺市東区出身でヨーロッパ各地で活動するチェリスト岡田琢朗と2人のドイツ人アーティストで組織されるタリストリオによる伝統的室内楽をお楽しみ下さい。



●出演/Talistris(タリストリオ)、岡田琢朗(チェロ)、エリザ・グンマー(ヴァイオリン)、ヴェンツェル・グンマー(ピアノ)

全席指定 [前売]一般¥1,500 小学生・中学生¥500
[当日]一般¥2,000 小学生・中学生¥600

[チケット発売中]

◎お問合せ／堺市立東文化会館 ☎072-230-0134
[主催]堺市立東文化会館

WEB 電話 窓口 口 ★ Lコード52714



12/21日 [開演19:00]
アルテベル(堺市立美原文化会館)ホール

Saturday Jazz Time Vol.61

●出演/中野ひろし&スイングガイズオーケストラ

全席自由 一般(前売・当日)¥1,200 友の会¥1,000(当日¥1,200)

※友の会価格はアルテベル(堺市立美原文化会館)窓口のみ対象となります

[チケット発売中] ◎お問合せ／堺市立美原文化会館 ☎072-363-6868

[主催]アルテベル(堺市立美原文化会館)

WEB 電話 窓口 ★



チケット
取扱い

WEB 「sacayメイト」WEB購入

電話 電話購入 窓口 窓口購入

※詳しい購入方法はP02をご参照ください

チケットぴあ



ローション
チケット



イープラス



★ 未就学児入場不可

アーティストカレッジ2024 ～ネクストステージのための10講座～ 開講!

堺市文化振興財団では、学校、こども園、病院、福祉施設、こども食堂といった地域の様々な場所で、コンサートやワークショップを実施しています。クラシック音楽、オペラ、ジャズ、絵画、造形、能楽、バレエ、コンテンポラリーダンス等の様々なジャンルを取り扱い、経験豊富なアーティストと連携して、受入先と調整しながら企画を提案・実施します。またそうした現場で活躍する若手アーティストの育成支援も行っています。

芸術活動を続けていく上で、知っておきたいこと、聞いてみたいことはたくさんあると思います。このたび開講するアーティストカレッジでは、これから活動の幅を広げたい、キャリアの選択肢を増やしたいアーティスト、アートマネージャー、アートコーディネーターの方々に役立つ全10回の講座をご用意しました。6月23日(日)には第1回「音楽ワークショップ入門講座」「ダンスワークショップ入門講座」を実施しました。作品を見たり聴いたりするだけではなく、参加者を巻き込み、積極的な表現を引き出す手法を、音楽とダンスを通して学びました。この講座は、堺市新進アーティストバンク登録者に向けた研修を一般の方にも開放したものです。様々なジャンルの講師が、世界を広げたい、自信をつけたい皆さんを応援します。ご参加、お待ちしております!



詳細・申込はこちら

Other Information

秋から冬を彩るフェニーチェ堺のイベントをご案内します。

今年も、堺市内の美味しいパン屋さんが大集合!

パンフェスティバル 堺 2024

10.20日 10:00～15:00

会場: フェニーチェ堺前 翁橋公園
雨天: ガレリアにて開催

※今年度は、より多くのお客様に楽しんでいただくため、入場制限・購入制限を実施します。詳しくはホームページをご覧ください。

入場無料

飛び猫 写真展

11.24(日)～12.26(木)
10:00～18:00 (最終入場時間は17:30)
※12.2(月)、12.16(月)は休館日

場所: フェニーチェ堺 3F 文化交流室

入場料: 大人: 500円 高校生以下: 300円 *未就学児は入場無料

もふあつめ展 同時開催

写真家・五十嵐健太が写真に収めた大迫力&かわいい猫写真を展示します。また、事前にご応募いただいた飼い猫さんの写真も同時展示します。

冬の訪れを告げる、**フェニーチェ堺の**
クリスマスツリー & イルミネーション

点灯期間 11.23(土・祝) - 12.26(木)

★ライトアップイベント

11.23(土・祝) フェニーチェ堺前 翁橋公園

時間は決まり次第HPにてお知らせ致します。
雨天: 小ホールにて開催

大きなクリスマスツリーとイルミネーションが
シャンパンゴールドに輝く瞬間を一緒に楽しみましょう!

ライトアップ・プレゼンター
スミワタル
(ピアニスト・YouTuber)
演奏とイルミネーションをお楽しみください。

入場無料

7/13(土)、待望のイタリアンレストランがオープン!

フェニーチェ堺に隣接する翁橋公園に、トラットリア&カフェ「SACAY TERRACE SALTO(サカイトラス サルト)」がオープンしました。開放的で明るい雰囲気の店内はランチやディナーを楽しむお客様でいっぱい、早くも活気にあふれています。地場の新鮮な食材でつくる定番イタリアンや、高温で一気に焼き上げる窯焼ナポリピッツァのほか、お店に入ってすぐの持ち帰りカウンターで注文できるテイクアウトも人気。終日利用できるカフェメニューも充実しており、どの時間帯にどなたと来店されても、食事や空間を堪能できること間違いなしです。気候が良くなれば、翁橋公園に面したテラス席でのBBQもおすすめで、毎年11月から12月にかけてフェニーチェ堺と翁橋公園を彩るクリスマスツリーとイルミネーションに合わせて、パーティーを予約してみるのもいいかもしれません。お目当ての公演がある日はもちろん、ご家族やご友人との日常の一幕にもお使いください。



SACAY TERRACE SALTO ● 席数/店内88席 テラス20席 (テイクアウトあり)
● 営業時間/11:00～22:00 [ランチ11:00～15:00(L.O.)] [ディナー]17:00～21:00(L.O.) [カフェ]11:00～21:00(L.O.)
☎072-242-3850 [HP] https://restaurant.balnibarbi.com/shops/sacay_terrace_salto

STUDIO/



SPinninG MiLL



FENICE SACAY

南海高野線「堺東」駅より徒歩約8分



堺アルフォンス・ミュシャ館

(堺市立文化館内)
JR「堺市」駅下車 徒歩約2分



アルテベル(美原文化会館)

大阪メトロ御堂筋線「新金岡」駅
南海高野線「初芝」駅からバスで20分



東文化会館

南海高野線
「北野田」駅 徒歩約2分

SAKAI
MAP

©オガジマ サエ

フェニーチェ堺とあわせて訪れてみたい観光スポットや、近隣の気になるお店・人物をご紹介します。歴史と現在が交差するまち堺ならではの、《伝統の中から生まれる魅力的な挑戦》を体感しに来てください。

堺のまちひと

Town & people

SAKAI city

MAP 01

スピニング・ミル SPinninG MiLL

“現代の千利休”の手によってよみがえった堺・七道のランドマーク

取材・文/岩本和子 写真/篠原沙織

南 海「七道」駅から北東へ歩いて約7分、紀州街道沿いに「スピニング・ミル」はあります。明治後期に建てられた紡績工場を再利用した撮影スタジオ兼レンタルスペースで、レトロな意匠が見ごたえのある、この境界のシンボリックな存在です。2013年、写真家の小野晃蔵さんがオープン。大阪市在住だった小野さんは、「スピニング・ミル」の運営を機に、堺に引っ越してきました。「内装は、必要最低限のことしか手を加えていないんです。なので、ほぼ昔のままです。100年の時を経て仕上がった姿を楽しんでほしいですね」と話す小野さん、2階の壁に据えられた照明のスイッチも昔のまま、一角には年季の入った住宅分電盤もあり、その一部は現役稼働というも驚くばかりです。

1階ではマーケットなどを、2階ではコンサートなどを行うこともあり、ヨーロッパのジャズ奏者による日本ツアーの会場になったことも。「この建物を見た瞬間から、ここを自分だけのものにしたらいけないと思ったんです。人が集う場所になりたい、いろんな企画を立ち上げました。そしたら“ここ、借りられるんや”というんな人が集まるようになって。2階にはグランドピアノがあるので、ミュージシャンにはそれがよかったです。そのピアノも知人から譲り受けたもの。家具なども「この建物に合うと思うから」と、次々やってきたそう。「スピニング・ミル」という空間が開かれたことで、人と人が出会い、ものに新たな命が吹き込まれ、様々な情報が集まるようになりました。今、あるものに価値を見出すこと。それは小野さんが大事にしていることです。「たとえば、紀州街道にちなんで、起点の大阪・高麗橋から終点の和歌山城までを“会場”とするマルシェ計画とかね。その規模のマルシェなんてないから、ギネスにも挑戦できるし」と小野さん、楽しそうな表情を浮かべます。



千利休は茶の湯を確立させたことで有名ですが、既にあるものや空間をプロデュースすることにも長けていました。さながら小野さんは“現代の千利休”。「スピニング・ミル」を拠点に、人と街とがワクワクする企画を常に考えている小野さんに会いに行ってみては？ 何かが始まるかもしれません。

スピニング・ミル ☎072-370-4545 〒590-0912 大阪府堺市堺区並松町45
●レンタルスペース利用料:平日5000円(税別)～ ●詳細は要問合せ spinningmill2013@gmail.com

寄り道 ふえに〜ちえ

Drop by FANICE

MAP 02

取材・文/岩本和子
写真/篠原沙織

うなぎや くるふね さかいざりようどおりてん
鰻屋 黒船 堺御陵通店
〒590-0047 大阪府堺市堺区二条通1-2 ●不定休 ●Pなし
●11:00~14:00(L.O.13:30)、17:00~20:00(L.O.19:30)

詳しくはInstagramをご覧ください



特殊製法で焼き上げた関東風の鰻をリーズナブルに味わえる

「お いい鰻を楽しんでもらいたい」とのコンセプトのもと、メニューを「ひつまぶし」と「鰻重」に限定し、うれしい価格で提供する「鰻屋 黒船 堺御陵通店」。中でも「ひつまぶし 特上」(3,200円)がおすすめと店長の黒田さん。「厳選したニホンウナギを丸一尾使用し、独自の製法で関東風に焼いています。柔らかく、ふっくらとした身と、関東風ながらもパリッとした皮も特徴的です。土佐室戸の海洋深層水を使ったタレはあっさりながらも香ばしく、お箸がどんどん進みます。薬味や漬物、吸い物、そして「日本一」のこだわり卵もトッピング。さらに「はにわら堂」のわらび餅もセットに。数量限定ですが、鰻のおに

ぎり(200円)もお土産でいただけるなど、至れり尽くせりのサービスに身も心もほくほくです。「黒船のひつまぶしは4回楽しめます」と黒田さん。まずはそのまま、2回目は薬味を乗せて。3回目は濃厚でクリーミーな「日本一」のこだわり卵をオン、鰻と卵のマリアージュはう巻だけにあらず。大阪・黒門市場の老舗「伊勢屋」の野沢菜で箸休め、最後は出汁をかけてお茶漬けで大団円。また、かば焼きとの相性抜群の「濃厚ふわふわバター」(200円)を追加すると、「背徳の味」も味わえます。店舗の周辺にはコインパーキングも充実。ちょっと贅沢をしたい日のランチにディナーに、訪れてみてはいかがでしょうか。



こちらの誌面をご持参いただき、店内で食事メニューをご注文のお客様に「非売品のうなぎ焼きおにぎり」を1個サービスで提供いたします
※クーポンご利用は2024.10.31まで

